

2016年12月期 第3四半期 決算説明会

～アジアNo.1のマーケティング・ソリューション・プラットフォーマーに。そして世界へ～

GMO RESEARCH

STOCK CODE : 3695

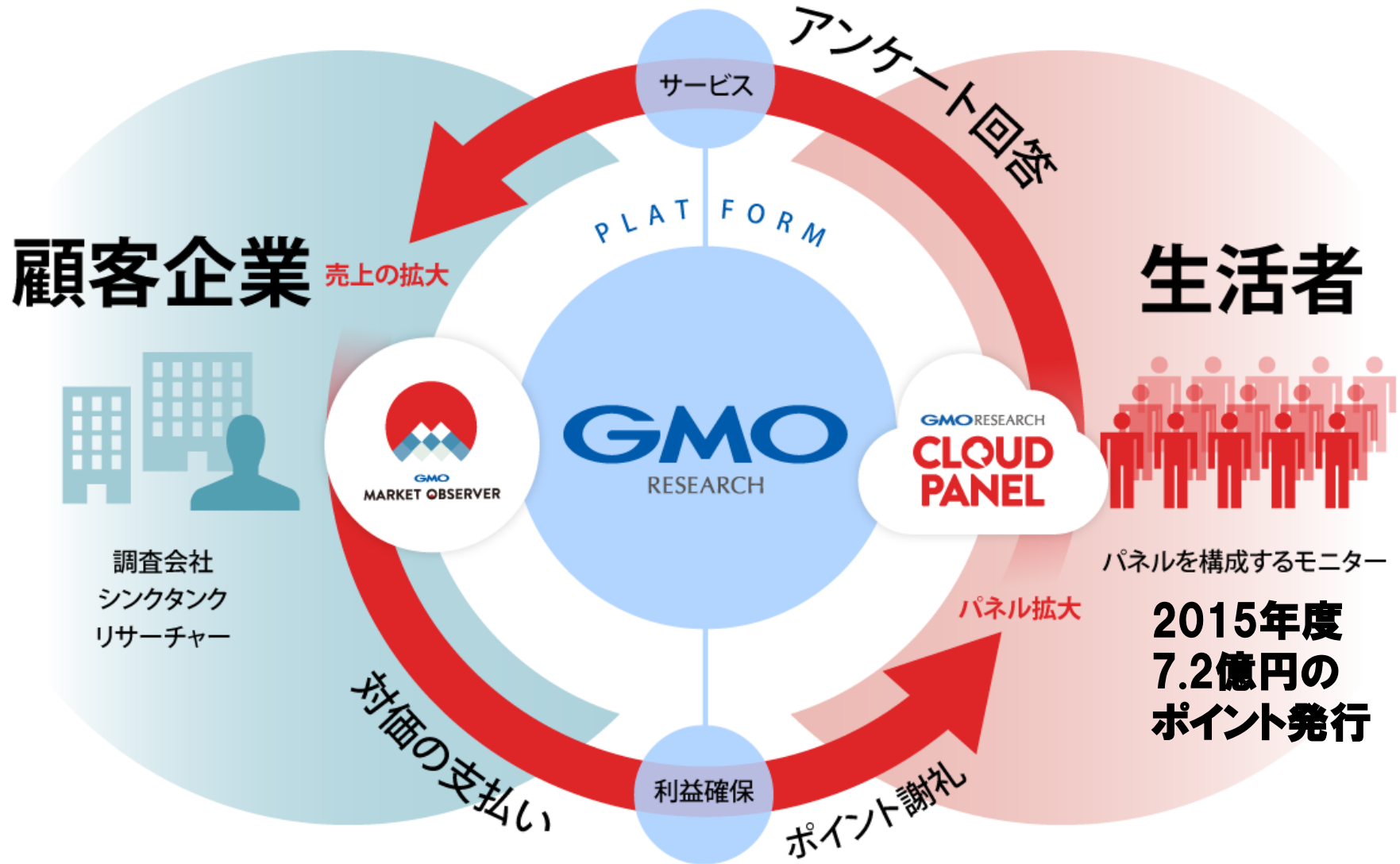
代表取締役 細川 慎一
取締役 澤田 裕介

- ① 事業概要
- ② 2016年12月期 3Q決算概要
- ③ <参考資料>

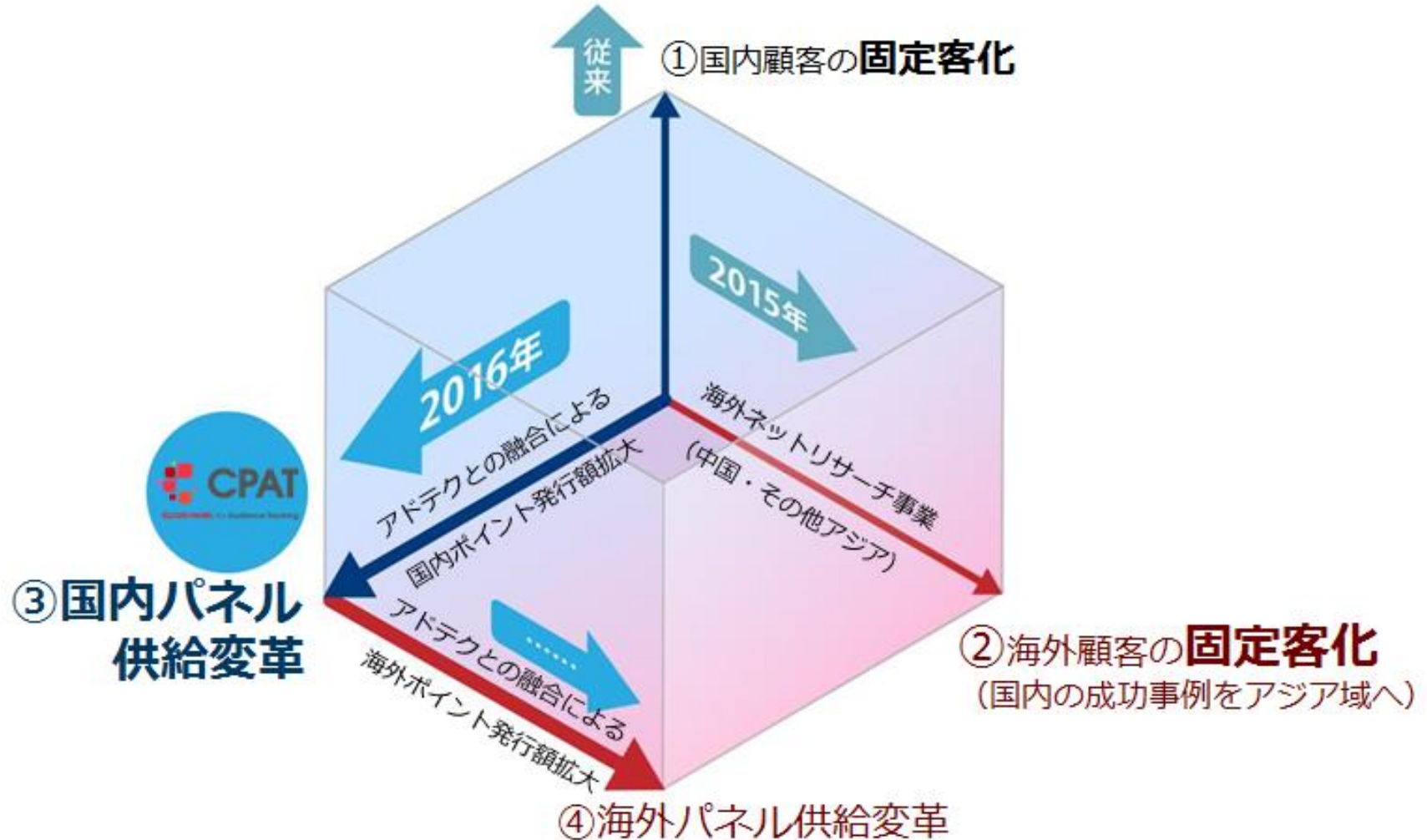
1

事業概要

■ 案件が増えると発行ポイントが増え、パネルが拡大するサイクルにあります。



- 今後の成長戦略 ①国内顧客について、基盤を強化し、②海外顧客の固定客化をさらに進め、2016年は特に③国内パネル供給変革に注力



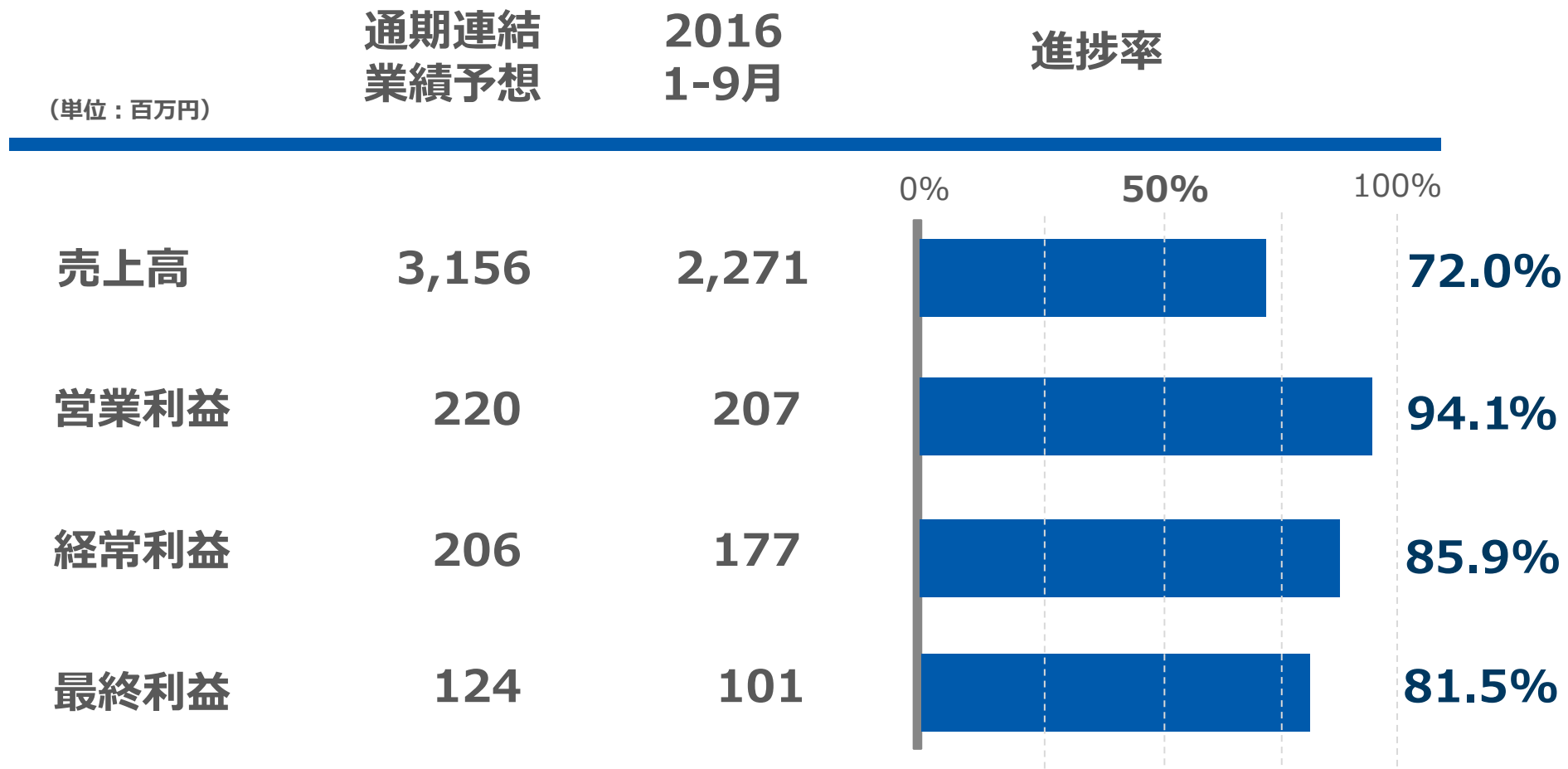
2

3 Q決算概要

■ 売上高成長率は17%となり、前年同期比335百万円増加

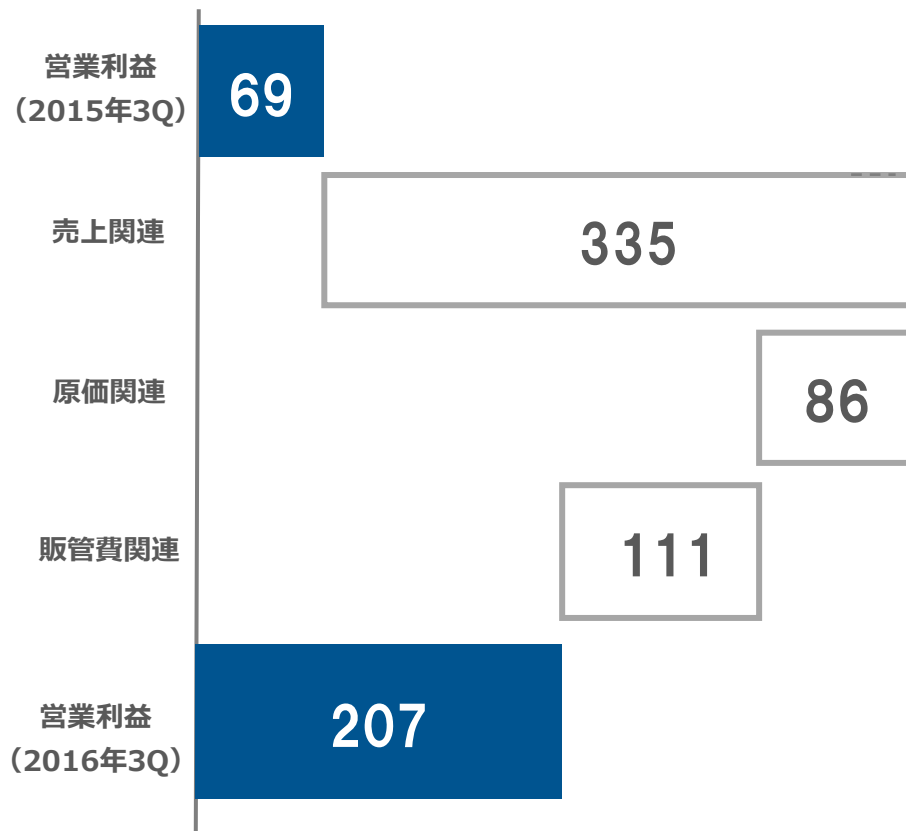
(単位：百万円)	2015 1-9月	2016 1-9月	前年同期比 増減率
売上高	1,936	2,271	+17.3%
営業利益	69	207	+196.7%
経常利益	63	177	+178.2%
最終利益	35	101	+187.3%

- 売上高は目安となる進捗率75%に対してビハインド
- 各種利益は75%超で順調に推移



■ 売上高の好調により、営業利益は前年同期比196%増の207百万円

(単位：百万円)



<主な増減要因>

- ・ 売上関連

DIYサービスの好調
3月の広告予算消化によるCPATの好調
地域別では、日本、EUの好調
- ・ 原価関連

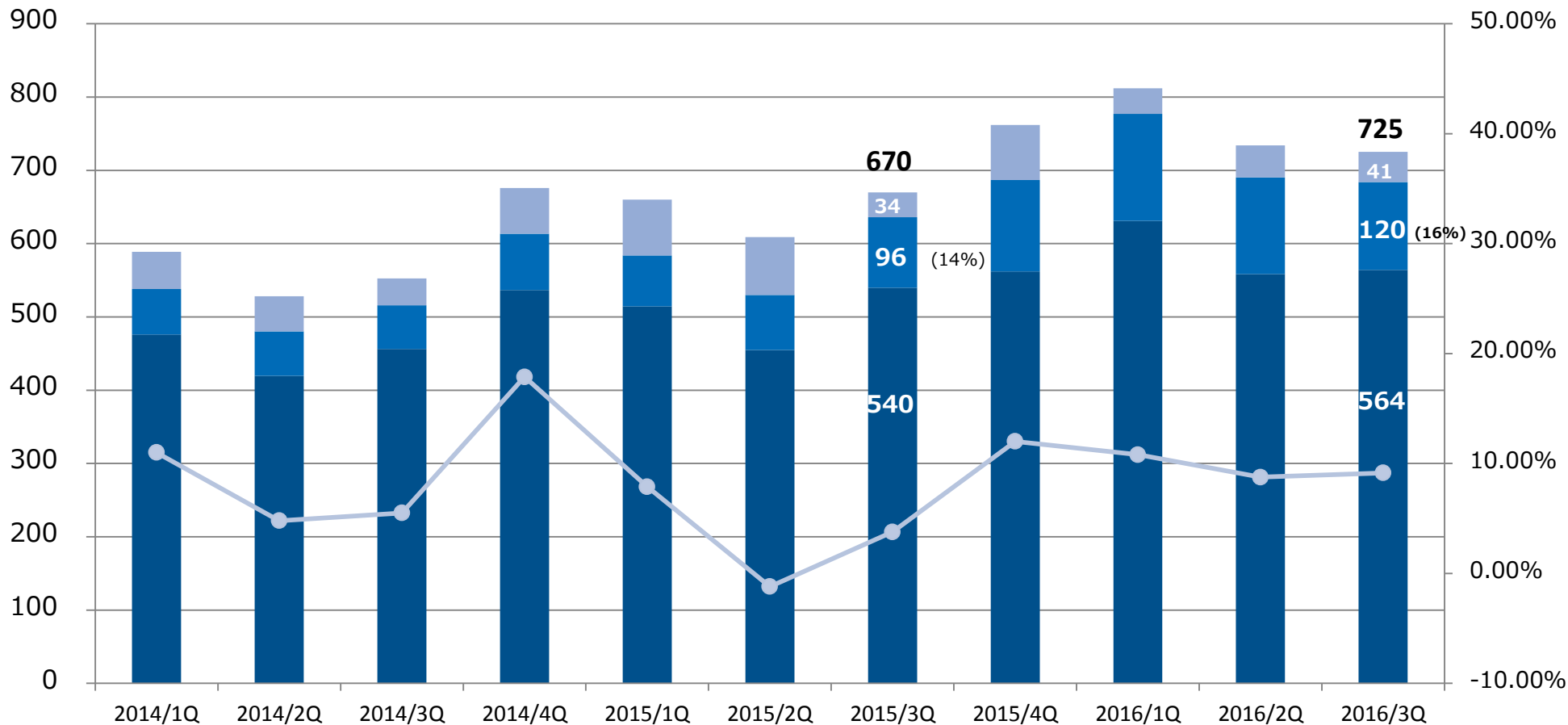
DIYサービスの比率上昇
アジアクラウドパネル利用の促進
中国で粗利率の高い案件への絞込み等により原価率が減少
- ・ 販管費関連

売上好調による、販売コストの増加
(人件費、研修費、インセンティブ等)
infoQ向け広告費の増加

- アウトソーシングサービスの3Q売上高は、前年同四半期比4%増で564百万円
- D.I.Yサービスの3Q売上高は、前年同四半期比25%増で120百万円
(全体の16%)

(単位：百万円)

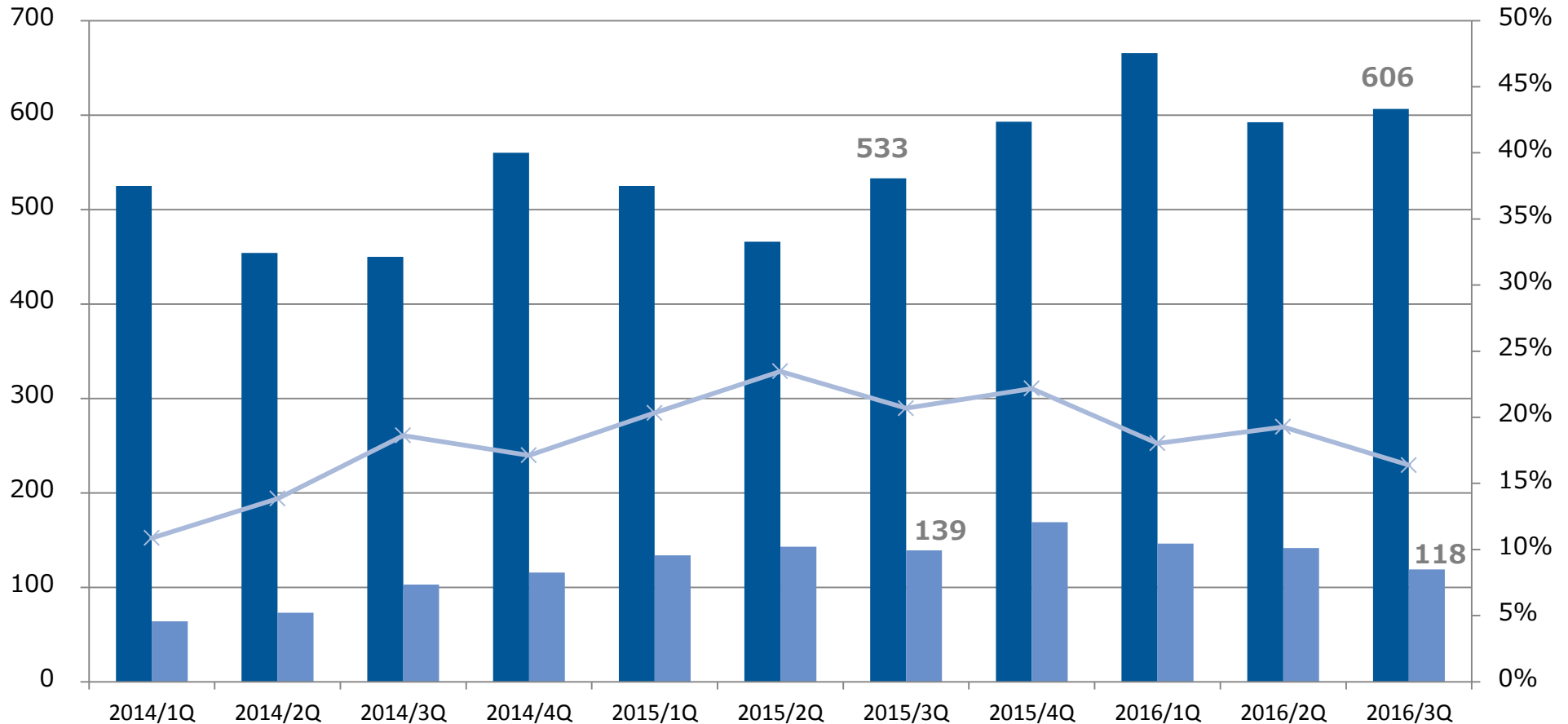
Outsourcing D.I.Y service Others 営利率



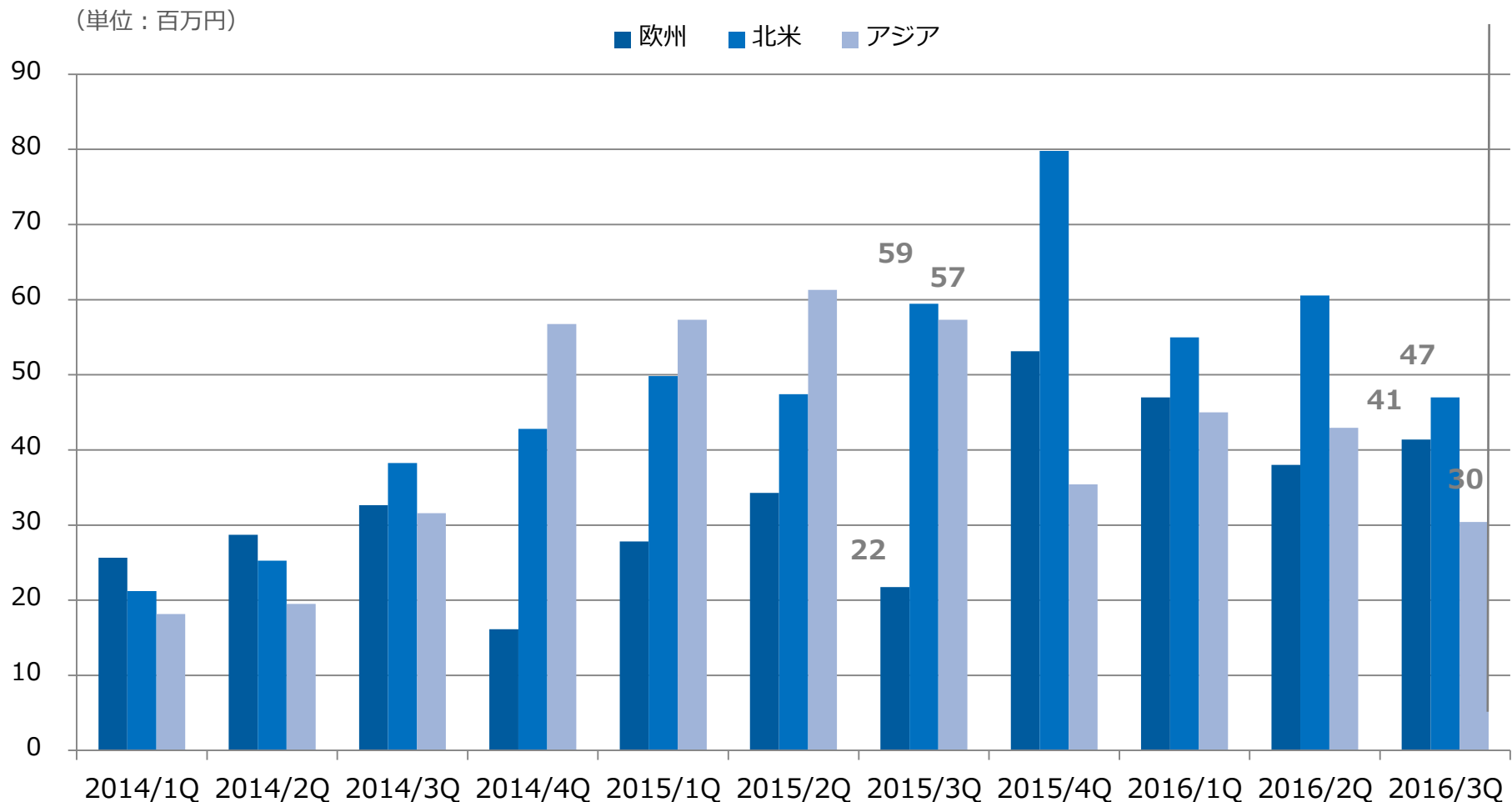
- 国内3Q売上高は、前年同四半期比13%増で606百万円
- 海外3Q売上高は、前年同四半期比15%減で118百万円（全体の16.4%）
- 15%程度の円安の影響

(単位：百万円)

■ 国内売上 ■ 海外売上 × 海外比率

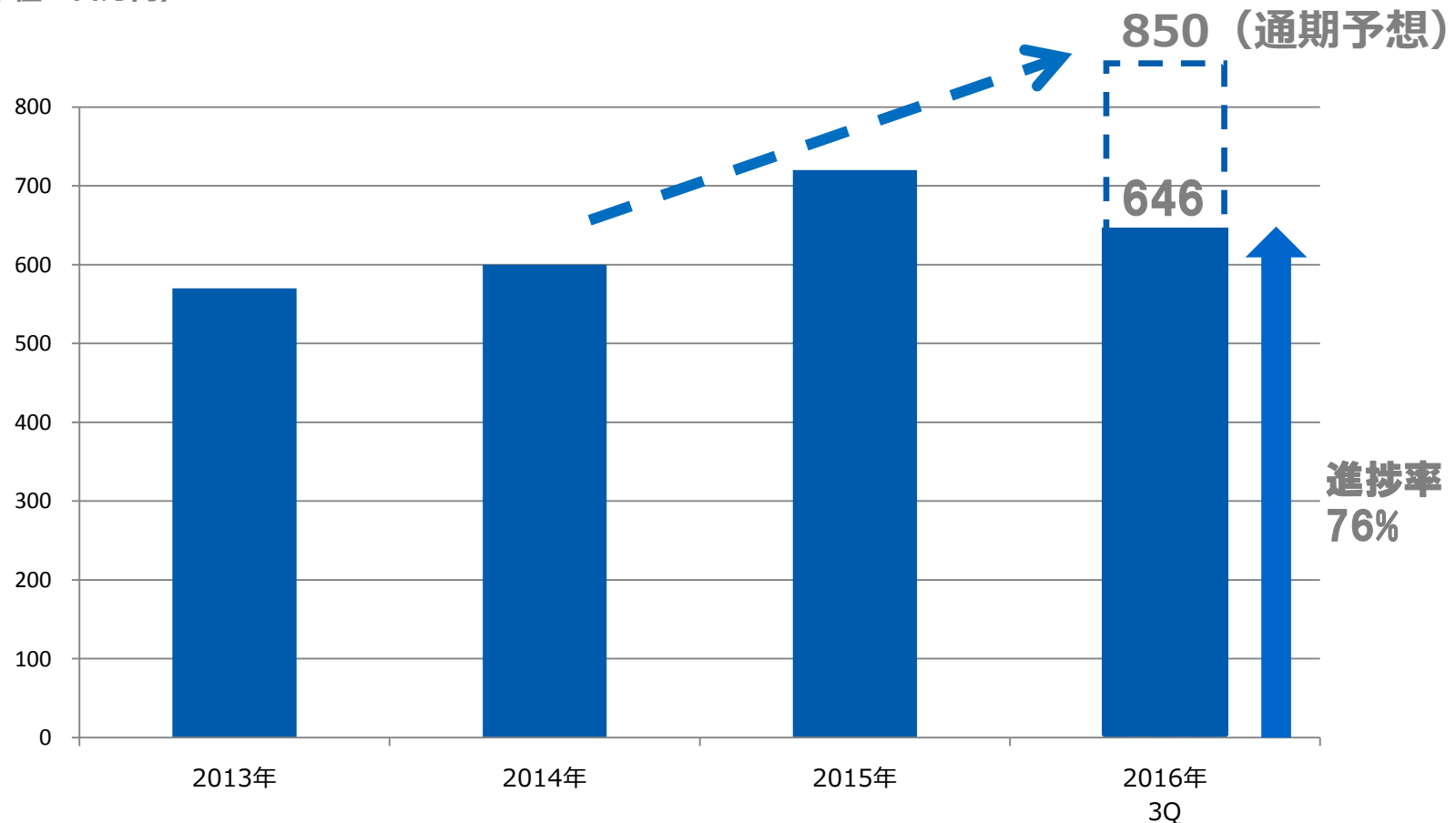


- 欧州は前年同四半期比86%増（1 - 3Q累計で51%増）
- 北米は同20%減（1 - 3Q累計で4%増）
- アジアは中国の景気低迷、案件絞込により同47%減（累計33%減）



- ポイント発行額がパネル供給変革のKPI
- パネル供給変革の推進により、「ASIA Cloud Panel」内のポイント発行額を拡大し、当社のプラットフォームの更なる強化を図る

(単位：百万円)



3

<参考資料>

- 連結貸借対照表
- サービス別販売先・サービス内容説明表
- アウトソーシングサービスとDIYサービス
- アジアの市場規模
- アジアクラウドパネルの状況
- 各拠点人員数推移
- 配当還元方針

■ 連結貸借対照表

(百万円)	2015年末	2016年3Q末	前期末 増減率
流動資産	1,224	1,393	+13.8%
（現金預金）	555	510	▲8.1%
固定資産	525	444	▲15.4%
資産合計	1,750	1,837	+5.0%
流動負債	619	653	+5.5%
固定負債	16	21	+29.4%
負債合計	636	675	+6.1%
純資産	1,114	1,162	+4.3%

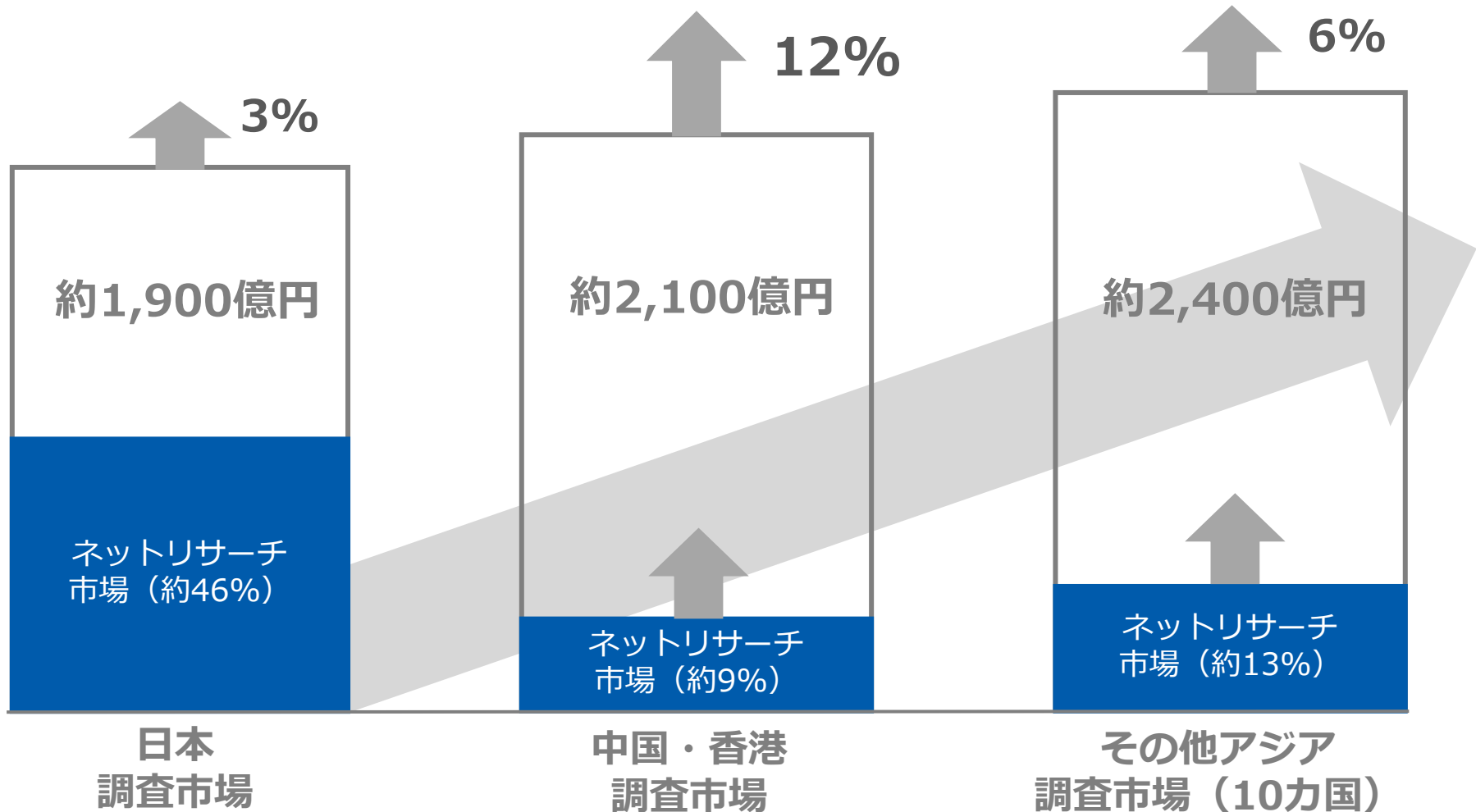
サービスの名称		販売先	サービスの内容
アウトソーシングサービス	Full Service	調査会社/ 広告代理店/ コンサルティング企業	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでのアンケート画面作成・アンケート案内配信・アンケートデータの回収・クリーニング、集計といった一連の工程を一貫して提供します。 ・アドテクのプラットフォームと連携した広告業界向けサービスを提供します。(CPAT)
	Sample Supply		<ul style="list-style-type: none"> ・顧客が自社内でオンラインでアンケート画面を作成している場合に、当社が回収管理を行い、顧客のアンケート画面に回答結果を提供します。
D.I.Yサービス	Self Sample Supply (SSS)		インターネットリサーチにおいて、当社がサービスインフラとパネルのみを提供します。
	システム関連売上	GMO Market Observerを顧客のリサーチプラットフォームとして提供します。	
その他サービス	New MR/ コンベンショナル調査	一般企業	<p>New MRとは、アイトラッキング調査、MROC、Scanamind（スキャナマインド*）、コミュニティといった最先端のマーケティングリサーチソリューションを提供するサービスで新たなプラットフォーム提供のための研究開発の役割を担っています。また、コンベンショナル調査は、オフライン（現場）で実施する調査手法でありオンライン業務の更なる自動化のため戦略的に取り組んでおります。</p>

*Scanamindは、株式会社クリエイティブ・ブレインズの登録商標です（登録番号第5109952号）

		アウトソーシングサービス		DIYサービス	
サービス名称		Full Service	Sample Supply	Self Sample Supply	システム関連 売上
業務工程	1. 調査設計	顧客	顧客	顧客	顧客 (注)
	2. 調査画面 作成	GMO Research	顧客	顧客	
	3. プロジェクト マネジメント	GMO Research	GMO Research	顧客	
	4. パネル管理	GMO Research	GMO Research	GMO Research	
	5. Cloud Panel 利用	GMO Research	GMO Research	GMO Research	

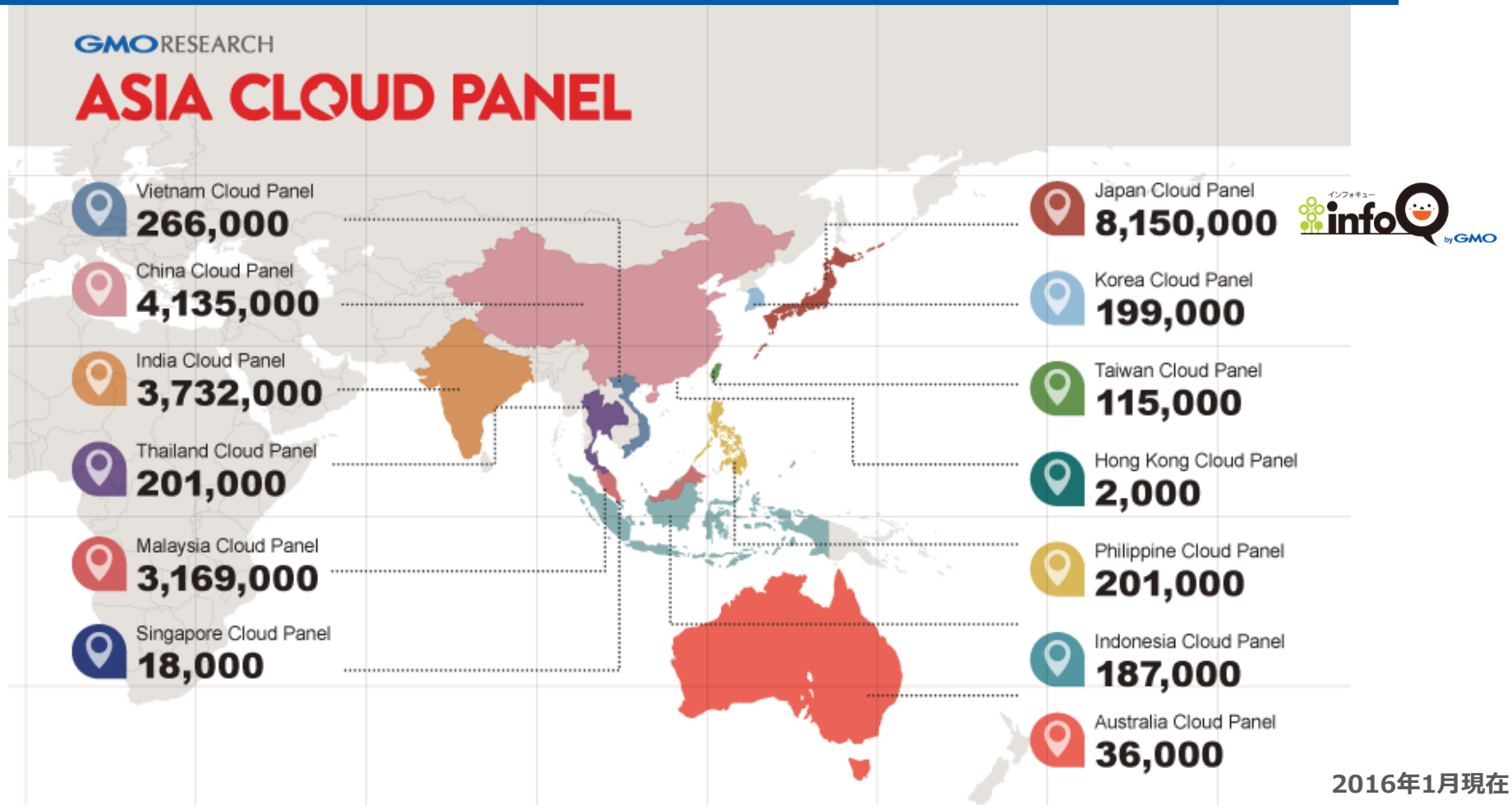
(注) お客様の中には、当社のCloud Panelをご利用にならない場合もあります。

■ アジア地域のインターネットリサーチ市場は今後さらに拡大すると予想



ESOMAR、
中国マーケティングリサーチ協会調べ

- アジア各国の調査パネルを提携によりネットワーク化し、自社調査サイト「infoQ」を含む、パネル提携先36媒体に向けて、調査配信が可能。
- 業界最大規模（2,000万人超）のパネルネットワークを構築。



各拠点における正社員数の推移

(単位：人)

	日本	シンガポール	インド	中国	正社員合計
拠点機能	本社 ・国内欧米営業、PJ管理 ・国内パネル管理 ・システム開発	・東南アジア営業 ・東南アジアパネル管理	欧米、東南アジア PJ管理、営業補助	・営業 ・PJ管理 ・中国パネル管理	
2014年7月1日時点	77	1	9	5	92
2015年1月1日時点	82	2	11	5	100
2015年7月1日時点	90	2	12	8	112
2016年1月1日時点	85	1	13	9	108
2016年7月1日時点	87	2	15	9	113
2017年1月1日見通し	90	2	15	9	116
半期人員増減数	+3	0	0	0	+3
補足	新卒 (海外組等)	—	—	—	—

- 2016年12月期は、配当は過去最高の37.60円を目標とする。
- 前回発表から変更なし

	2014年度	2015年度	2016年度
	実績	実績	(計画)
1株当たり年間配当金 (円)	36.54	22.00	37.60
総配当性向 (%)	40.0	45.4	50.0%
1株当たり当期純利益 (円)	91.38	48.42	75.13

本日はありがとうございました。

GMO RESEARCH

本資料、および本説明会における質疑応答などにおける市場予測や業績見通しなどの内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであります。
従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、あらかじめご承知おきください。